

新年あけましておめでとうございます。
本日より新長浜市の出発といっても、天地のはざまに間借りしている我が身にとって、特に感慨はありません。



藤井 亨さん
(西浅井町大浦)

ただ、長浜市よりも八百年近くも古い歴史を持つ伊香の地名が失われることに一抹の寂しさを覚えるのは私だけでしょうか。
せめて、この西浅井が、長浜の大波にただのみ込まれることなく、小さいながらも輝きをはなち続けることを願うものであります。

新しい長浜は、姉川など琵琶湖に注ぐ豊かな水系に恵まれた緑あふれる大地と、湖辺の景色など県内屈指の自然景観を有しています。



高津 俊治さん
(高月町雨森)

また、幾多の戦国の歴史を物語る古戦場や、渡岸寺の国宝十一面観音など、土地に根付いた人々の暮らしをしのばせるたくさんの歴史遺産があります。
そんな中で、人々は結いの心を大切に、湖北はひとつの生活圏を築いてきました。
新市を機に、さらに心通い合う人間味あふれたまちづくりが始まるよう期待します。

新長浜市誕生記念!!

～ふるさと再発見 新長浜市を歩こう～

ウォーキングを通じて健康づくりと仲間づくりをしている『ながはまウォークらぶ』が新長浜市の誕生を機にもう一度地元ふるさとを歩いてみよう、ウォーキングを計画！このウォーキングを通してふるさとの良さを発見しましょう！

●1月17日(日) 午前8時45分集合
「初詣 長浜六瓢筆めぐり」
集合場所：JR長浜駅
距離：約12km
参加費：会員無料、一般参加300円

●2月20日(土) 午前9時集合
「富田人形の里と 足利尊氏ゆかりの安楽寺を訪ねる」
集合場所：JR河毛駅
距離：約13km
参加費：会員無料、一般参加300円

問 ながはまウォークらぶ事務局
(財)長浜文化スポーツ振興事業団 長浜市民体育館内 ☎9806

新年とともに、長浜市誕生おめでとうございます。
西浅井の歴史と、自然豊かなまちが今まで以上に発展していく事を願います。



山下 八重さん
(西浅井町山門)

また、子どもたちから高齢者一人ひとりまで、安心して暮らせる、住みやすい市になっていく事を期待しています。

四季折々の表情を見せる山や田園風景、湖など、このまちの景観が好きです。長浜は歴史深いまちなので、より多くの観光客にも訪れてもらい、まちの活性化に繋がればいいと思います。合併して広範囲の地域となりますが、今まで守られてきた文化や伝統を大切に、なによりも自然という大きな財産をみんなで守っていききたいものです。



平野久美子さん
(余呉町坂口)

永年住み馴染んだ故郷の余呉町が生き残るためには、新しい制度の合併もやむを得ないと思います。私たち過疎地の高齢者で2人暮らしの者には、今まで近くにあった役場が遠くへ離れることは、寂しいというか一抹の不安を感じています。特にタウンバスの運行を心配しています。説明会では現行どおりの運行とされていますが、国が行っている「仕分人」のような行政サービスにはしないで僻地の末端まで平等なサービスをしていただけるように望んでいます。



木村 俊雄さん
(余呉町橋坂)

新長浜市は県下最大の面積となり、多方面にわたる疎遠になることが懸念されますが、伝統ある文化と歴史ある建造物、さらに豊かな自然等、この地域に存在する数々の資源を活用して、交流の促進や多様なネットワーク化が高まる魅力あるまちづくりが推進されることを切望します。そして、新市民にとって安心・安全に暮らすことができ、他の市町村に誇れる新市となることを期待します。



武田 浩文さん
(木之本町小山)

平成22年1月1日、1市6町の合併により新長浜市となり、新しい幕開けとなりました。不況の中での合併で、厳しい面を多く言われますが、新しい年の初めに合併できたことは、ステキな未来が待っているようにも思われます。物の豊かさを求めた時代は終わり、これからは、心の豊かさを求め、お互いに手を取り合い知恵を出し合い、魅力ある長浜市になることを願っています。



林 定子さん
(木之本町千田)

平成22年1月1日 長浜市誕生

新市へのメッセージ

新年とともに新長浜市が誕生しました。そこで、新市と同じ1月1日生まれのみなさんに新しいまちに寄せるメッセージをいただきました。

私は、合併することをとてもさびしく思っています。なぜなら、今まで住んできた高月町が長浜市に変わり、親しみを込めて呼んでいた高月という名が消えてしまうからです。
でも、長浜市となってもこの美しいまち高月に変わりはないし、これからどんどん美しいまちに変わっていくと思います。
私のまち高月が長浜市の一員となって、より美しく、優しい心があふれるまちとなることを心から願っています。



平川たまみさん
(高月町布施)

新長浜市誕生お祝します。
合併とともに私が生まれ育った湖北の名前が消えるのは、寂しいです。史に栄えある山幸の小谷の里、流れも清き妹川速水の里、さざなみよする湖辺の里朝日は、全国夕日百選の里でもある。新しい市になっても、こうした自然を守り歴史を大切にし、湖北の盟友武将浅井家の家訓「智・仁・勇」を心に受け継ぎ、一人ひとりが思いやりの心を持ち、福祉制度の充実、特に高齢者や小さな子どもたちにやさしい長浜市となることを期待します。



阿部千九馬さん
(湖北町小今)

新年とともに長浜市誕生おめでとうございます。未来都市の行政に期待が大きい反面、不安も募りますが、湖北の歴史・伝統を守り、豊かな自然をより活かし、郷土に思いを寄せる人々の声を大切に、各世代が安心して暮らしていけますように、市民の協力と行政の益々の努力を願っています。



中村登紀子さん
(湖北町海老江)

長浜に越してきてもうすぐ4年…。アロマに興味があった私はインターネットで検索し長浜のアロマ教室に通いました。今はアロマを生かしたりフレグソロジーを目指しています。大人になって夢を実現できるなんてとてもありがたいと思っています。都会へ行かないと夢が叶わない！のではなく、合併を機に長浜市がもっと活性化し子どもたちが地元でも夢を叶えることのできる大きなまちになっていくことを願います。



和田真由美さん
(落合町)

長浜市民となる長年の思いが実現され大変嬉しく思います。合併に御尽力いただきました市長はじめ、皆様方に感謝いたします。
さて、時代は大変革の波が押し寄せてきています。これからの未来を構築するキーワードは、「少子化対策」です。むずかしい問題ですが、子育てのための施設、教育、環境など子どものために、税(予算)を思いっきり投じていただきたいです。十年後には、出生率が高く子育てに恵まれた長浜市になってほしいです。



国友 康行さん
(宮部町)

私は合併に期待より不安を抱いていました。「小」が「大」に飲み込まれてしまうのではないかと…。しかし、こんなマイナスな事を考えていてもしかたがありません。それなら、前向きに考えることにしました。規模が大きい自治体のやり方が正しいとは限りません。一方が補い、また両方の良い所は残し、みんなで新しい長浜市をつくっていくんだ、という認識が大事だと思います。生まれ育った「虎姫」がなくなる事に一抹の淋しさはありますが、活気があり、そして自然と共存出来る、そんな新市になっていく事を期待しています。



鈴木富美代さん
(五村)

平成22年を迎え、新たな長浜市が誕生しました。私が望む新長浜市は、地域に留まるだけの政治ではなく躍動感に満ち溢れ、思いやりのある街づくりができる長浜市です。他人事として見ていただけなら簡単ですが、なるべく市の活動に参加して、一人の長浜市民として貢献できたらいいなと思っています。



高崎 東さん
(西野町)